

災害時にドローンで支援を



9月28日(木)に町と一般社団法人DPCA(京都府京都市)、一般社団法人地域再生・防災ドローン利活用推進協会(京都府京都市)の間で「災害時等におけるドローンを活用した支援活動に関する協定」を締結しました。この協定は、町内で災害が発生した時に、ドローンでの上空からの情報収集や被災者の捜索・救助、災害現場地図の作成支援が必要な際、同2法人に対して円滑に作業協力を要請できるよう定めたものです。

今後は、被害状況の確認が難しい災害現場を中心に、この協定を適切に活用していきます。

いのちを守るために



9月17日(日)に広幡公民館にて、広幡地域自治町民会議により地域住民を対象とした防災訓練が行われました。自治町民会議の役員が中心となり、AEDの使い方や心肺蘇生についての救命講習会、避難所設営訓練、地震体験訓練が実施されました。

参加者は人命を救助するために必要な知識・処置について講習を受けるとともに、災害の発生後に自分たちで避難所を設営するなど、地震をはじめとした災害発生時の「いざというとき」に身を守るために取るべき行動について学び、地震体験車によって地震の恐ろしさを再認識しました。

ブランコで楽しい思い出を



9月20日(水)にショーワ株式会社(岐阜市)より上多度小学校の開校150周年を記念して、グラウンドに4連ブランコを寄附していただきました。同社の水谷宏代表取締役会長は「養老町に工場を建設してから50年が経ちました。この地域とともに歩み、成長してきたので恩返しにと寄附しました。学校生活の楽しい思い出のひとつとして欲しいです」と寄附に込めた願いを話しました。

休み時間になるとブランコには多くの児童が集まり、笑顔で仲良く遊んでいます。

みんなで支える あたたかな福祉のまち



提供：田中カメラ

9月30日(土)に町民会館において町社会福祉協議会の主催により、第24回養老町社会福祉大会が開催されました。社会福祉の発展に対する功労者を表彰するとともに、地域のつながりが希薄化し、社会的孤独が問題視される中で、地域全体で互いを気遣い、支え合うことのできる地域社会としていくために、地域と連携・協働して福祉活動を進めていくことの大切さを確認しました。

また、テレビなどで活躍している谷本道哉氏による「いつまでもいきいき元気に！～健康寿命を延ばす簡単筋トレ法～」をテーマとした講演も開催され、参加者は一緒に体を動かしながら、快適に動ける体づくりについて学びました。